

小中一貫教育だより

研究主題 「考えを伝え合い、深く学ぶことができる児童生徒の育成」
～小中一貫した指導の積み重ねを通して～

吉田小学校・吉田中学校では、9年間を見通し、小中一貫した教育を今年度も進めています。今年度も小中合同研究会、授業研究会をはじめ、ブロック集会や乗り入れ授業などを行ってきました。以下に取組をご紹介します。



★小中合同授業研究会

～吉田小学校 3年1組国語～

11月10日(水)に、2回目の小中合同授業研究会を小学校で行いました。今回は、小学3年生国語科で「パラリンピックを家族に紹介しよう」の授業を井手直生教諭が行いました。子どもたちは「読む人にわかりやすく伝えるような要約の仕方を考えよう」のめあてで学習を行いました。授業後の研究会では、小中学校の職員が3つのグループに分かれて、熱心に協議しました。たくさんの貴重な意見やアドバイスが出され、大変有意義な研究会と

なりました。

☆研究会で出された意見を紹介します。

- ・両親や祖父母など家族に、調べたことをリーフレットにまとめて伝える言語活動で、相手意識をもって意欲的に活動していた。
- ・意味段落ごとに個人で要約した文章を、1文ずつ短冊にすることで、友達との要約の違いが一目でわかり、視覚的にわかりやすく伝えやすかった。そのため、話し合いで中身を深めることができた。
- ・筆者の考えや題名と関係がある大切な言葉(キーワード)や中心文(キーセンテンス)を見つけたり、あまり必要ではない文を削ったりするなど、要約のポイントを意識して活動ができていた。
- ・小学校は具体物、中学校は頭の中で、と発達段階に応じた指導の積み重ねが大事。

◎小中学校連携の様子◎

乗り入れ授業

吉田小中では、中学校の国語をはじめ各教科の担当職員が小学生に授業を行ってきました。専門性が生かされた授業を受け、児童たちも真剣に授業を受けていました。中学校の先生方から勉強へのアドバイスなどももらい、中学校での生活への不安も少し和らいだようです。



音楽～箏の授業～
中学校の松尾先生から丁寧な指導していただきました。



英語～小学校の復習～

中学校の杉光先生から英語の授業を受けました。小学6年生で学習した内容復習をしてもらいました。



子どもたちの感想より

- ・中学校の先生との授業は楽しく覚えることができました。
- ・中学生になるまでに苦手を克服したいと思いました。
- ・小学校と違うことがいろいろあったので、復習したいと思いました。

★ブロック集会 ～第2回(10/28)・第3回(11/26)の様子を紹介します～

第2回

◆ I 期◆(小1～小4年生) 1年生は音読劇「サラダで元気」を、2年生は「山のポルカ」の鍵盤ハーモニカ演奏と動物クイズを発表しました。

一年生は初めての発表でしたが、大きな声で音読劇ができました。それぞれの役になりきって、見ている人を楽しい気分にしてくれました。



二年生は、文字を見せながらクイズを出したり、みんなで音色をそろえたりしました。感想交流では、一・二年生の発表の良い所がたくさん見つけれられました。

◆ II・III期◆(小5～中1年生&中2・3年)

中学生が体育大会で披露した「全校応援ダンス」を踊り、小学5、6年生に見てもらいました。



中学生になったら自分たちも踊れるかな・・・?

◆ I 期◆ 3年生が総合的な学習「吉田の名人さんをさがそう」で学んだことを「吉田にぴったりの家」の模型を作って紹介しました。「ゆかいな木琴」の演奏も聞かせてくれました。

第3回



名人さんについて、調べたり、教えてもらったりしたことをくわしく伝えることができました。



感想交流では、一・二年生が「演奏が上手」と発表しました。四年生が昨年のことを思い出して、「吉田の名人さんにそんな人もいないとは知らなかった」と発表するなど、集会の良さがみられました。

◆ II 期◆ 小学5年生は「コロナ禍での宿泊訓練」・6年生が、「平和について調べたこと」について発表をしました。

実行委員会ごとに自分たちの活動を、写真を見せながら、分かりやすく発表しました。



一人ひとり、調べたことを広用紙にまとめて、ポスターセッションの形で発表しました。平和について学んだことが聞く人によく伝わりました。



◆ III 期◆ 「生徒会活動」に向けて中学3年生が2年生に助言やアドバイスをしました。

二年生が司会をし、ブロック集会を進行しました。三年生の分かりやすい説明と適切なアドバイスは、二年生の今後の生徒会活動の参考になるものでした。また、三年生の発表態度も堂々としていて、二年生は学ぶ点が多かったです。

